

第1459回 通常夜間例会

4月13日(火)「つば甚」にて夜間例会が開催されました。当初、LLの皆様とともにお花見同伴例会を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大傾向を受け、急遽、通常夜間例会に変更となりました。

会長挨拶では、桑島会長より「一週間前まではお花見例会としてLL同伴を予定していましたが、新型コロナの感染者がまた増加傾向にある中で、どう



すべきかを考えました。会員各位がそれぞれ自粛を促す側の立場にあることを踏まえ、LL同伴例会・懇親会は中止と判断せざるをえませんでした。懇親会はテイクアウト弁当に、国歌君が代とライオンズクラブの歌も静聴とし、芸妓さんの舞は年次例会で行なうことにします。1年4ヶ月ぶりのLL同伴がなかなかできなかったことは誠に残念です。お花見例会を予定していたので桜の話をします。「敷島の 大和心を人問わば 朝日ににほふ 山桜花」「願はくは 花の下にて 春死なむ その如月の 望月のころ」「散る桜 残る桜も 散る桜」「あぜ草の 召し出されて桜かな」昔から桜を題材にした歌や句がたくさんありますが、散ることばかり謳われています。桜は散って葉桜となり、それから一年かかって次の満開となります。コロナコロナで巣ごもり状態ですが次の時代の準備の期間と思いたいです。コロナウイルスはゼロにはなりません。いまはワクチンが行きわたるまで我慢し、コロナと一緒にやっていくしかなく今は次の準備をし、次の時代を作っていくときです。今年の大河ドラマの主人公、渋沢栄一は「私(わたくし)」がないという歴史上の評価を受けています。ライオンズの精神に通じます。桜の和歌で申し上げれば、「なにゆえに 心惹かれる 桜花 咲くを惜しまず 散るを惜しまず」です。また、渋沢には「しっかり利益をあげて、しっかり使え」との著述があります。無私ので We Serve でこれからもいきたいと思います。「なにゆえに心惹かれるライオンズ 利益を上げることを惜しまず奉仕するを惜しまず」で参りましょう。」とご挨拶いただきました。

《新入会員入会式》

新入会員の入会式が執り行われました。

この度入会されたのは株式会社寿屋不動産の

土橋勝也氏です。

会員委員会副委員長長の若林Lから経過報告があり、桑島会長からの「歓迎のことば」の後、土橋氏から「誓いのことば」があり、続いてライオンズバッジの授与が行なわれました。その後、紹介者の桑島会長から紹介のスピーチがあり、土橋Lから自己紹介がありました。

全会員が拍手をもって歓迎の意を表しました。



《各種報告・PR事項》

① 社会奉仕(四献推進)委員会

社会奉仕委員長の中村Lより、献血活動についてご報告がありました。

「4月2日(金)、金沢流通会館にて今期最後の献血活動が行われ、多数の方々(受付人数76名)に献血いただきました。」

② 地域環境委員会

地域環境委員長の中山Lが本日欠席のため、浦田幹事より、卯辰山清掃についてご案内がありました。

「来る4月27日(火)の早朝例会前に朝6時から卯辰山清掃を行います。今回はメンバーのみで行いますが、皆様のご協力をお願い致します。」

最後に、テールツイスター草野哲也Lが登場し、ドネーションを発表いただきました。その後、金沢検定の問題集から出題され、会場を盛り上げていただき、盛況のうちに散会となりました。

(記事：計画委員会)

